

**2023年株式相場展望
&
中長期的な投資テーマ・有望銘柄のご紹介**

2023年1月

**マネックス証券株式会社
チーフ・ストラテジスト
広木 隆**



日経平均予想EPSとバリュエーション

2023年の予想

2024年3月 2,400円 (マネックス予想)

2,400円 × PER13倍

3万1,200円

2,400円 × PER14倍

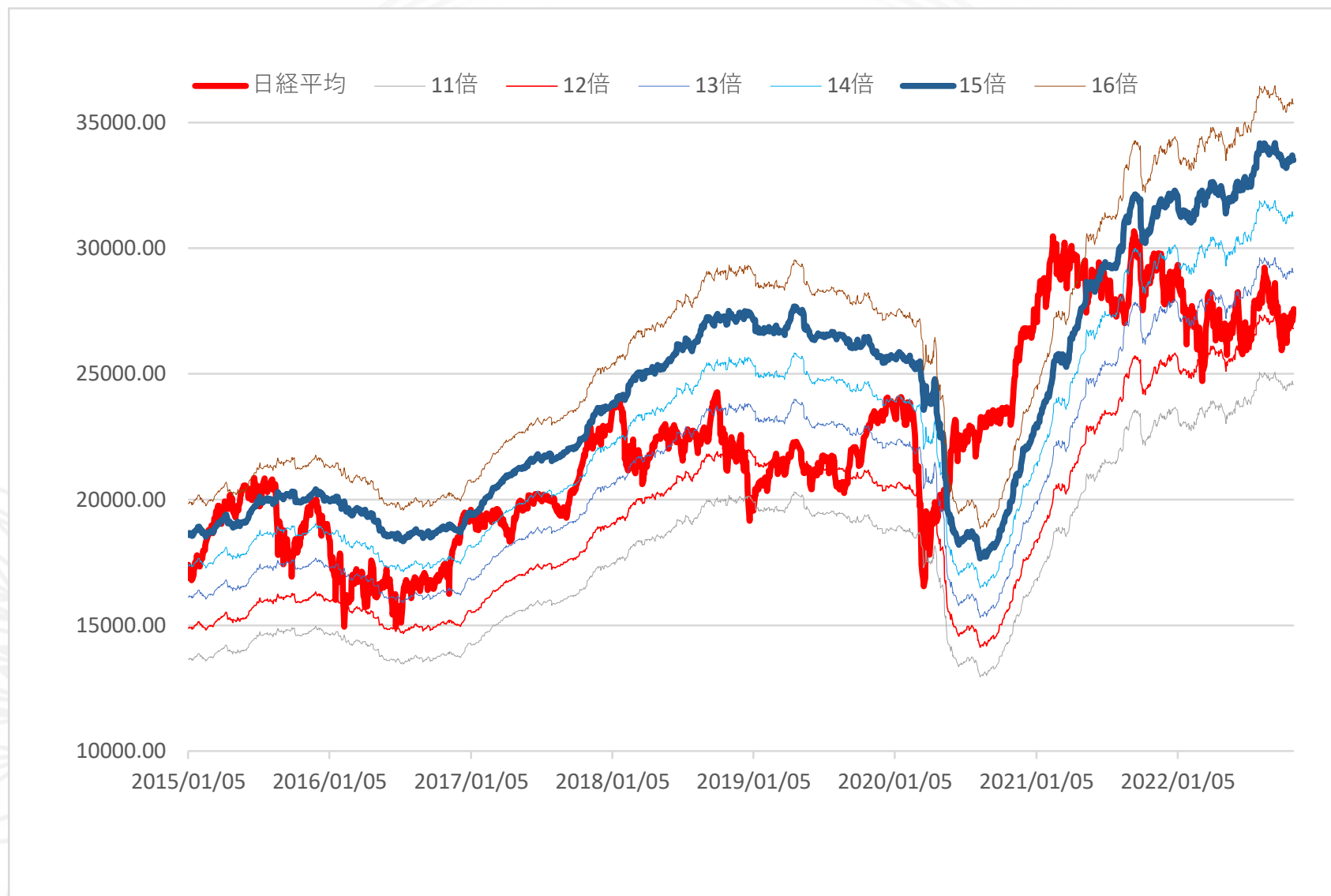
3万3,600円

2,400円 × PER15倍

3万6,000円

出所：テレビ東京
モーニングサテライト

日経平均とPERレンジの推移



出所：QUICK

Risk:

✓ FRB 政策判断の遅れ

✓ 日銀の政策変更に対する誤解・混乱の継続



日本株投資テーマ
～セクター展望・投資アイデア～

注目セクター（短期）

① リ・オープン 航空、鉄道、百貨店、レジャー関連
海運は売り

② 金融（銀行、生保）

③ 不動産

④ 商社

タイミングを見ながら

⑤ 電子部品、半導体、グロース

注目セクター（中期）

インド株 & インド進出企業

スズキ（7269）

本田技研工業（7267）

ファーストリテイリング（9983）

良品計画（7453）

ユニ・チャーム（8113）

ダイキン工業（6367）

関西ペイント（4613）

パナソニックホールディングス（6752）

テーマから独立した注目銘柄

任天堂 (7974)

テーマから独立した注目銘柄

ソフトバンクG (9984)

中長期的なテーマ

日本は課題先進国

日本の課題

1. インフラの老朽化

2. 少子高齢化

3. デジタルの遅れ

4. エネルギー

中長期的なテーマ

- ▶ 1.インフラの老朽化
- ▶ 2. 少子高齢化
- ▶ 3.デジタルの遅れ
- ▶ 4.エネルギー

これらを解決する産業・ビジネスに注目

ヘルスケア（医療、介護） シルバービジネス×テクノロジー
インフラ整備×テクノロジー

▶▶ ドローン、エア・モビリティ、ロボット、AR/VR、センサー

デジタル領域の拡大

教育×テクノロジー

グリーンエネルギー ▶▶ 核融合

ヘルステック銘柄

イーザイ (4523)

塩野義製薬 (4507)

メドレー (4480)

メドピア (6095)

シーエスアイ (4320)
(CEホールディングス)

BML (4694)

オリンパス (7733)

富士フイルム (4901)

シスメックス (6869)

島津製作所 (7701)

エクサウィザーズ (4259)

eWeLL (5038)

サンウェルズ (9229)

「変革」がキーワード



日立 (6501)

パナソニック (6752)

旭化成 (3407)

SOMPOホールディングス (8630)

丸井グループ° (8252)

「変革」がキーワード

フジクラ (5803)

オペレーショナル・ターンアラウンド

2年間、リストラに取り組み、独自のケーブルなどで稼ぐ高ROE
(自己資本利益率) 企業に変身

株価急騰でもPERまだ8倍台

ウェルビーイング

三井住友トラスト・ホールディングス（8309）
積水ハウス（1928）
丸井グループ（8252）
三井住友フィナンシャルグループ（8316）
イーザイ（4523）

<ウェルビーイングにつながる技術やサービスを提供する企業>

【調査・測定分野】

アトラエ（6194）・・・ エンゲージメントや離職リスクなどの調査

【人材の配置分野】

プラスアルファ・コンサルティング（4071）・・・ タレントマネジメントサービス
カオナビ（4435）・・・ 人材管理システム

厳選・長期的な優良経営企業

ソニー (6758)

AGC (5201)

リクルートホールディングス (6098)

オービック (4684)

オムロン (6645)

信越化学 (4063)

ヤクルト (2267)

セミナーに関する重要事項

本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。

マネックス証券株式会社および説明者は、セミナーおよび関連資料等の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、保証するものではありません。情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。

提供する情報等は作成時または提供時現在のものであり、今後予告なしに変更・削除されることがございます。当社および説明者はセミナーおよび関連資料等の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。なお、セミナーおよび関連資料等は当社および情報提供元の事前の書面による了解なしに複製・配布することはできません。記載内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

【マネックス証券株式会社】 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、

一般社団法人 日本暗号資産取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

国内外上場有価証券取引に関する重要事項

・国内株式および国内ETF、REIT、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等（以下「国内株式等」）の売買では、株価等の価格の変動や発行者等の信用状況の悪化等により元本損失が生じるおそれがあります。また、国内ETF等の売買では、裏付けとなっている資産の株式相場、債券相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等（これらの指数を含む。）や評価額の変動により、元本損失が生じるおそれがあります。信用取引では、売買代金の30%以上かつ30万円以上の保証金が必要です。信用取引では、元本（保証金）に比べ、取引額が最大3.3倍程度となる可能性があるため、価格、上記各指数等の変動、または発行者の信用状況の悪化等により元本を上回る損失（元本超過損）が生じるおそれがあります。レバレッジ型商品等の一部の銘柄の場合や市場区分、市場の状況等により、30%を上回る委託保証金が必要な場合があります。国内株式等のインターネット売買手数料は、「取引毎手数料」の場合、約定金額3,000万円以下のときは、最大921円（税込:1,013円）、約定金額3,000万円超のときは、973円（税込:1,070円）がかかります。ただし、信用取引では、「取引毎手数料」の場合、約定金額が50万円以下のときは、成行・指値の区分なく最大180円（税込:198円）が、約定金額50万円超のときは、成行・指値の区分なく最大350円（税込:385円）がかかります。また、「一日定額手数料」の場合、一日の約定金額300万円ごとに最大2,500円（税込:2,750円）がかかります。約定金額は現物取引と信用取引を合算します。（非課税口座では「取引毎手数料」のみ選択可能ですのでご注意ください。）単元未満株のインターネット売買手数料は、買付時は無料です。売付時は約定金額に対し0.5%（税込:0.55%）（最低手数料48円（税込:52円））を乗じた額がかかります。国内ETF等の売買では、保有期間に応じて信託報酬その他手数料がかかることがあります。国内株式等の新規公開、公募・売出し、立会外分売では、購入対価をお支払いいただきますが、取引手数料はかかりません。IFAコースをご利用のお客様について、IFAを媒介した取引の売買手数料は、1注文の約定金額により異なり、2億円超の約定金額のとき最大手数料345,000円（税込:379,500円）がかかります。詳しくは当社ウェブサイトに掲載の「IFAコースの手数料（<https://info.monex.co.jp/ifa/fee.html>）」をご確認ください。信用取引では、約定したお取引に対し当社が定める手数料がかかる他、信用金利等がかかります。

・国外株式および国外ETF、REIT、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等（以下「国外株式等」）の売買では、株価等の価格の変動、外国為替相場の変動等、または発行者等の信用状況の悪化等により、元本損失が生じるおそれがあります。国外ETF等の売買では、裏付けとなっている資産の株式相場、債券相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等（これらの指数を含む。）や評価額の変動により、元本損失が生じるおそれがあります。国外株式等の場合には、その国の政治的・経済的・社会的な環境の変化のために、元本損失が生じるおそれがあります。国外株式等は、国内金融商品取引所に上場されている場合や国内で公募・売出しが行われた場合を除き、日本の法令に基づく企業内容等の開示が行われておりませんので、取引を行うにあたっては十分にご留意ください。外国為替相場の変動により、外貨お預り金の円換算価値が下がり、円ベースでの元本損失が生じるおそれがあります。

中国株式等の売買では、約定金額に対し0.25%（税込:0.275%）（最低手数料45香港ドル（税込:49.5香港ドル）、上限手数料450香港ドル（税込:495香港ドル））の売買手数料がかかります。また、中国ETF等の売買では、保有期間に応じて信託報酬その他手数料がかかることがあります。

米国株式等の委託取引では、約定金額に対し0.45%（税込:0.495%）（上限20米ドル（税込:22米ドル））の国内取引手数料がかかります。IFAを媒介した取引の取引手数料は、1注文の約定金額により異なり、最大14,000米ドル（税込:15,400米ドル）がかかります。取引手数料のほか売却時のみ現地取引費用がかかります。現地取引費用は、市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その金額等および手数料等の合計額等をあらかじめ表示することはできません。店頭取引では取引手数料はかかりませんが、取引価格は当社が直近の米国金融商品取引所の終値等をベースとして合理的に算出した基準となる価格に、概ね1.5%（最大5.0%）のスプレッドを加減して決定し、IFAを媒介した取引の場合は、概ね2.2%（最大5.7%）のスプレッドを加減して決定いたします。米国ETF等の売買では、保有期間に応じて信託報酬その他手数料がかかることがあります。円貨お預り金と外貨お預り金の交換時に所定の為替手数料がかかります。

・米国株式等の信用取引では、売買代金の50%以上かつ30万円を下回らない範囲で当社が定める米ドル額以上の保証金が必要です。信用取引では、元本（保証金）に比べ、取引額が最大2倍程度となる可能性があるため、価格、上記各指数等の変動、または発行者の信用状況の悪化等により元本を上回る損失（元本超過損）が生じるおそれがあります。信用取引では、売買代金に対し0.3%（税込:0.33%）（上限15米ドル（税込:16.5米ドル））の国内取引手数料の他、信用金利、現地取引費用（返済時のみ）がかかります。詳細につきましては当社ウェブサイトの「手数料・費用」をご確認ください。

・お取引の際は、当社ウェブサイトに掲載の「上場有価証券等書面」「契約締結前交付書面」「リスク・手数料などの重要事項に関する説明」を必ずお読みください。